



学校だより 8月 夏休み号

平成30年7月23日 横浜市立芹が谷南小学校

今年の夏の思い出は ～充実した34日間に～

学校長 高木 篤子

「♪ 夏が来れば思い出す～」という歌詞で始まる曲『夏の思い出』。今年の夏、子どもたちはどのような体験をして、一人一人の思い出ができるのでしょうか。

小学生の頃、私は近所の公園で蝉の声を聞きながらラジオ体操をして、カードにスタンプを押してもらえることを励みにしていました。同じ公園で夜には盆踊りが行われ、浴衣を着て地域の方の振りを真似ながら踊りました。お囃子の音が響く夏祭りでは、友達と一緒に山車を引くなど、わくわくしながら出掛けました。花火大会では、海辺に広がる大輪の花火に歓声を上げて家族で観賞しました。振り返ると、様々な夏の風物詩に触れ、まちのよさを感じる機会は大変だと感じています。

夏休みの宿題のことも覚えています。低学年のときに、何度も手を加えながら作った工作。高学年で、何をどのように調べようか、どのようにまとめようかと自力で考えた自由研究。今年の夏休み明けに、芹が谷南小学校の子どもたちが「見て、これ作ったよ。」「自由研究をしてわかったよ。」「〇〇をがんばった。」と、一人一人のチャレンジを話してくれることを楽しみにしています。

夏休みを迎えるにあたって、学校では次の事柄について指導しています。共通理解の上、安全で充実した34日間の夏休みとなるように、ご家庭でそれぞれの計画について話し合ってください。

夏休みを迎えるにあたって

1 学習について

- ・長い夏休みだからこそできる課題を見つけて取り組みましょう。
- ・7月までの学習を振り返り、必要なところを復習しましょう。
- ・朝の涼しいうちに学習し、10時までは友達を遊びに誘わないようにしましょう。



2 生活について

- ・生活のリズムを保ち、早寝、早起きをしましょう。
- ・ラジオ体操や地域の行事には、できるだけ参加しましょう。
- ・地域の方にも、進んで「おはようございます」などのあいさつをしましょう。

3 安全のために

- ・「どこへ」「だれと」「何をしに」「いつ頃帰るか」を家の人に話してから出かけましょう。
- ・夕方5時には家に帰りましょう。(校庭開放は、平日午後4時半までです。)
- ・危ない場所に近寄ったり人通りのない所で遊んだりしないようにしましょう。
- ・知らない人に誘われても、ついて行かないようにしましょう。
- ・子どもだけで、プール、デパート、ゲームセンターなどには行かないようにしましょう。
- ・お金の貸し借りや、大人の許可なく物をあげたりもらったりすることはやめましょう。
- ・花火は大人と一緒にし、後始末もきちんとしましょう。
- ・自転車はブレーキなどの安全を確認して、交通ルールを守った乗り方をしましょう。